



2015

農業研究本部

中央・上川・十勝農業試験場

Central, Kamikawa & Tokachi Agricultural Experiment Station

道総研

これでバッチリ！ 「ゆめちから」の栽培法決定版



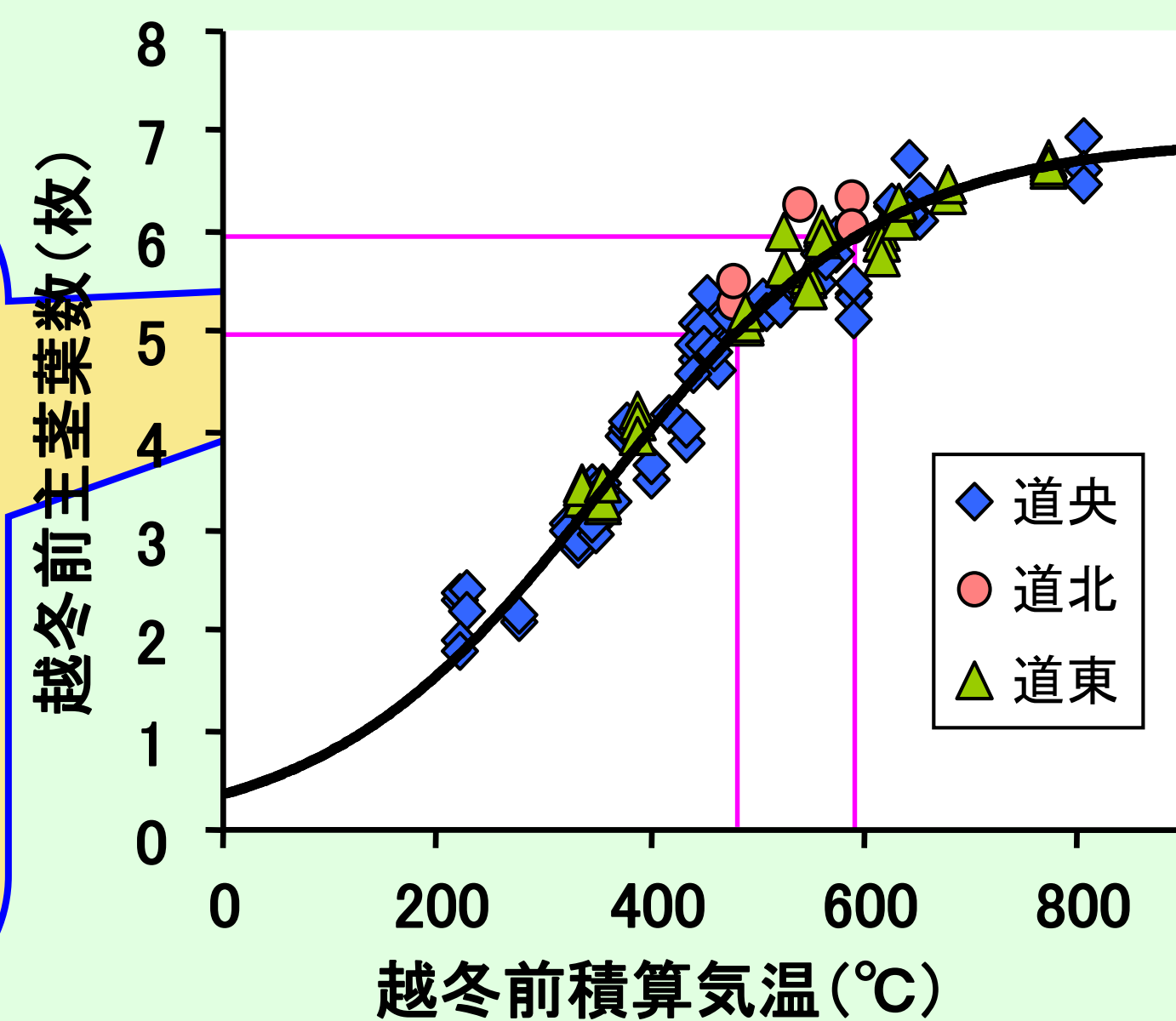
概要 Abstract

「ゆめちから」の栽培目標（収量600kg/10a、子実タンパク14%）の達成に向けた播種期、播種量、標準窒素施肥体系を定め、さらに施肥量の調整方法を示しました。

成果 Results

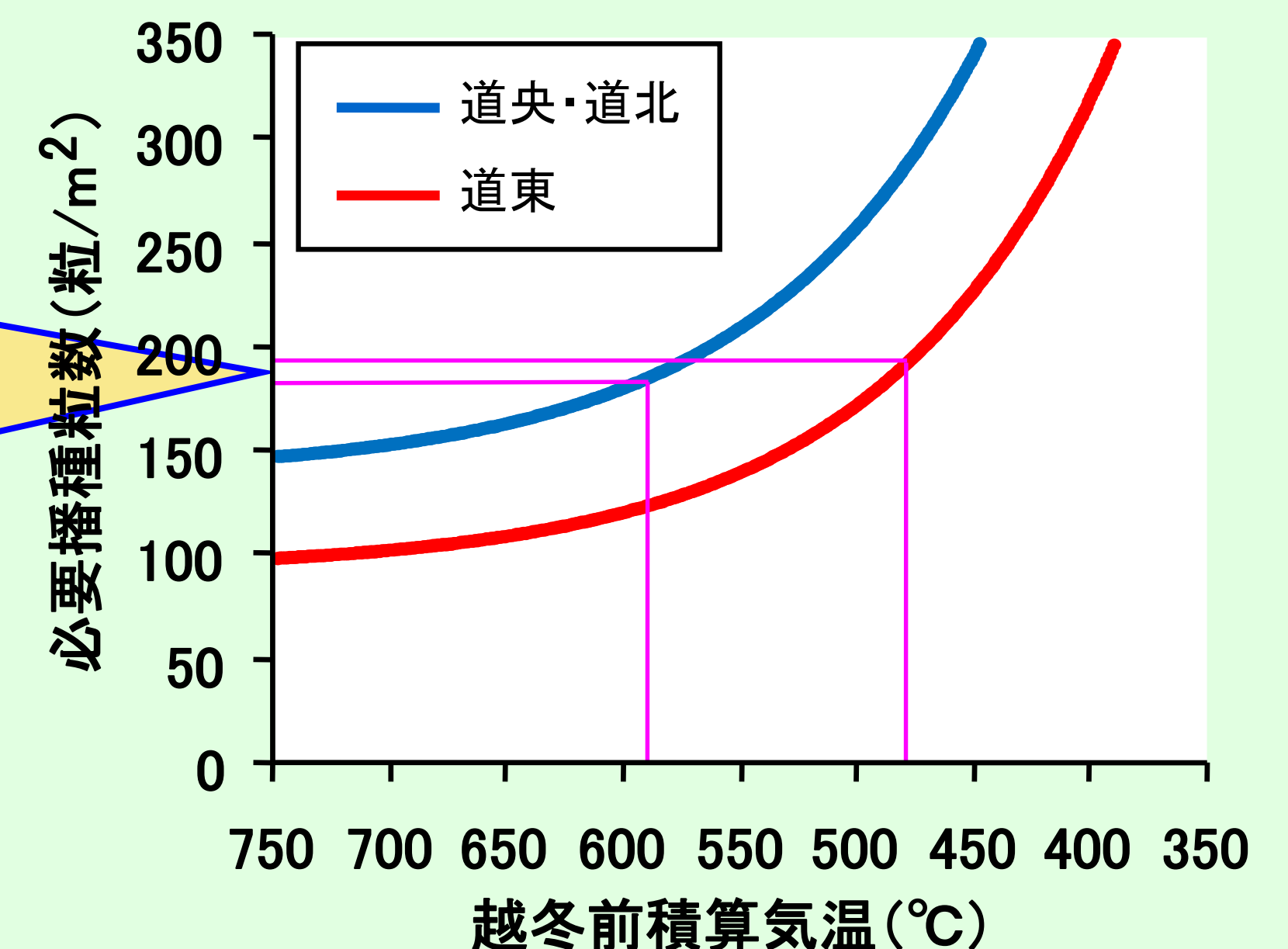
①播種期

「きたほなみ」より
早めに！
積雪前に主茎葉数が
道央・道北で6葉
（積算気温590℃）
道東で5葉（同
480℃）が必要です。

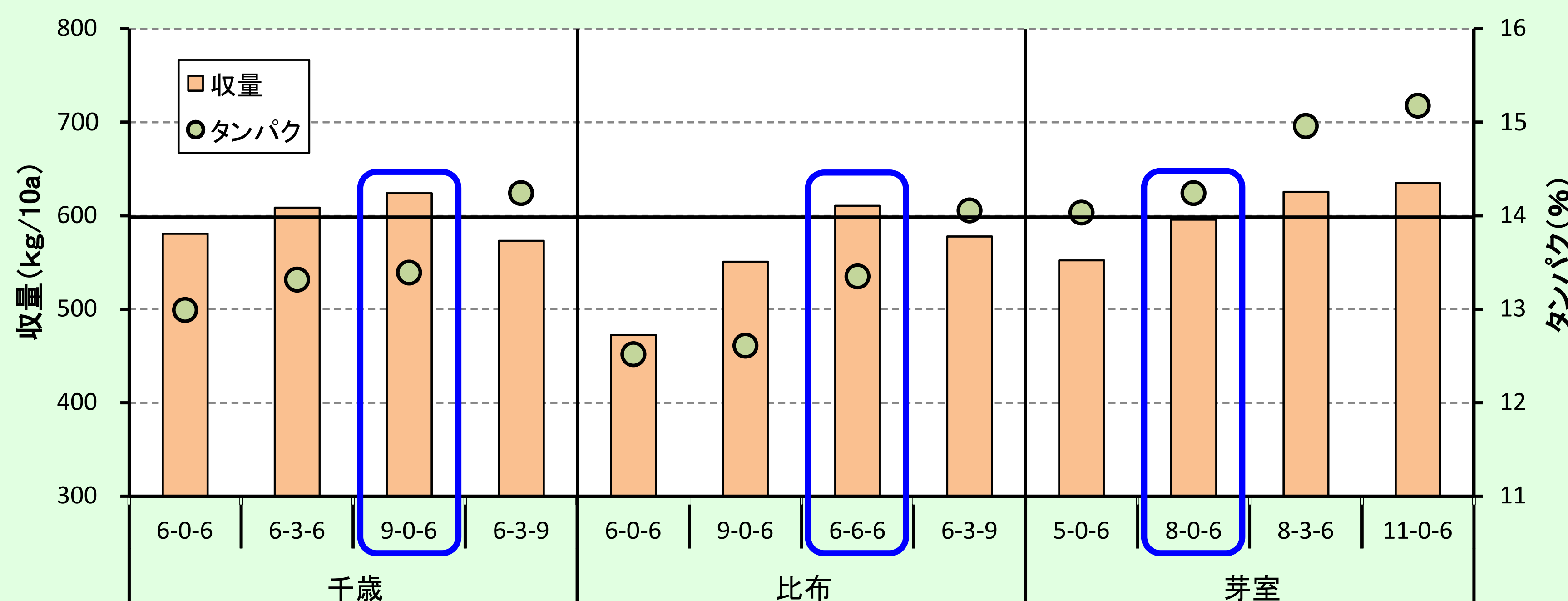


②播種量

全地域で
適期に
180～
200粒/㎡



③標準窒素施肥体系（起生期—幼形期—止葉期 kg/10a）



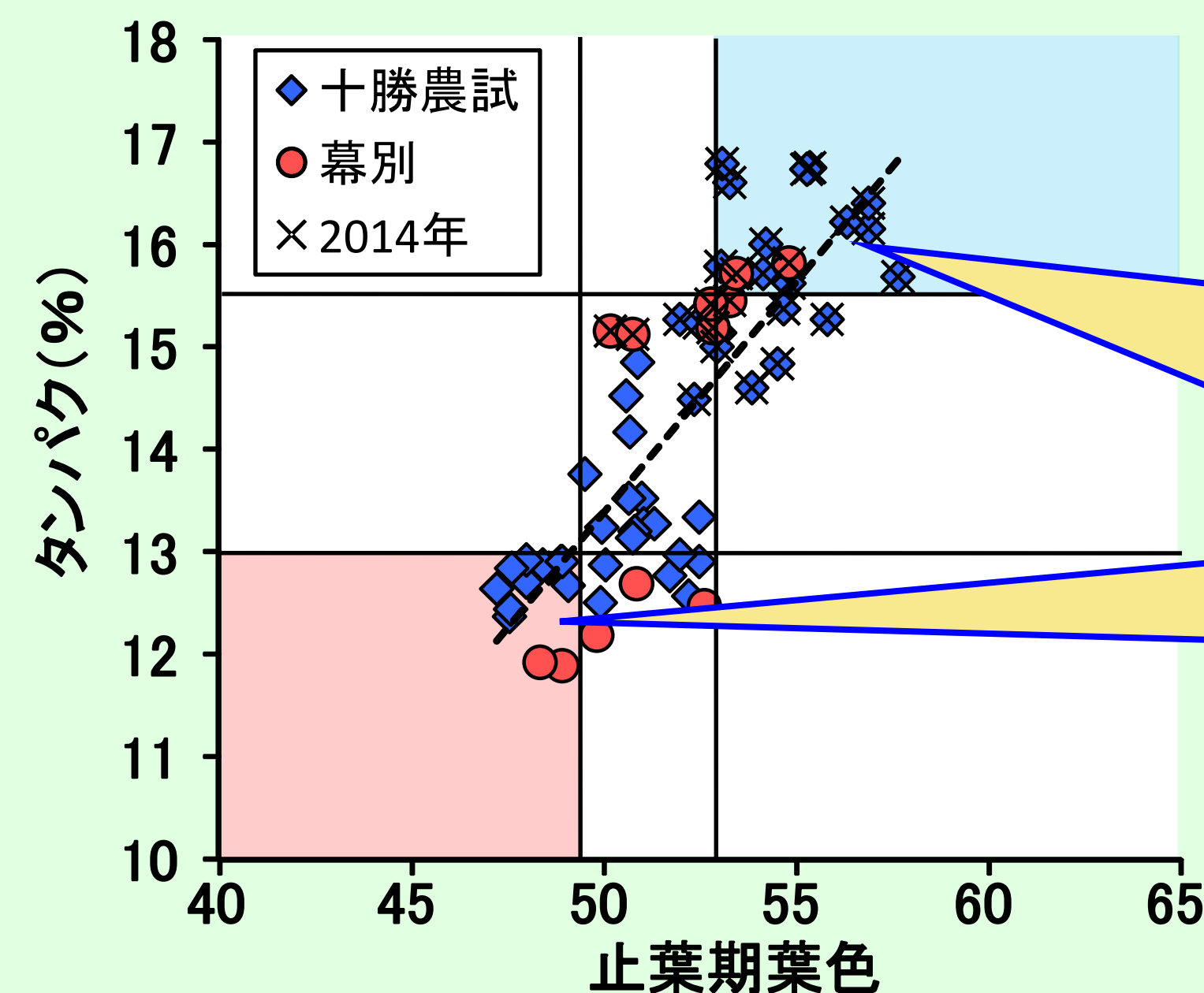
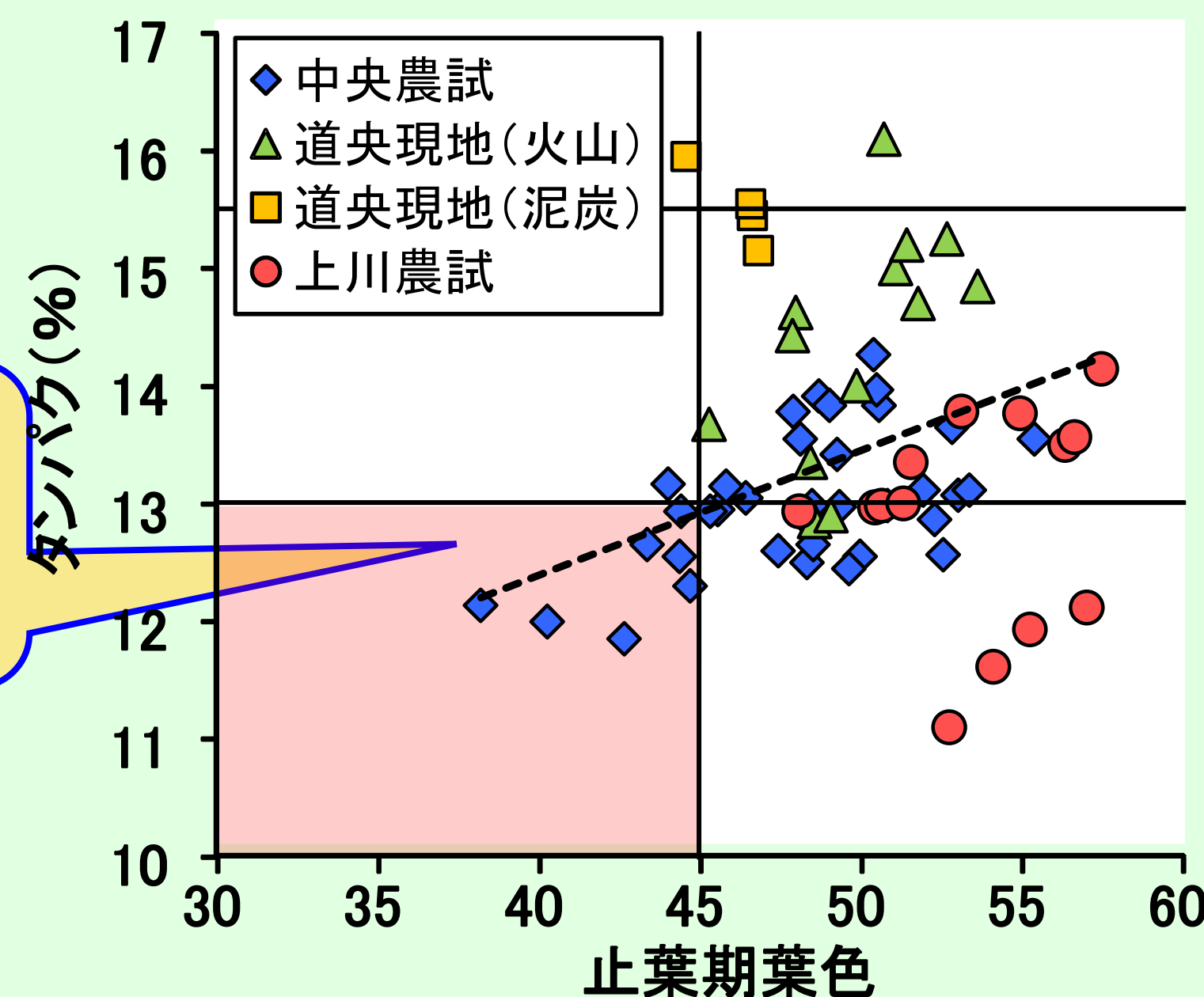
④窒素施肥の調整には...

項目	実績	目標	相対量最大	タンパク量	タンパク量	タンパク量
タンパク(%)	13.5	14.0	13.4	13.8	13.8	13.8
収量(kg/10a)	600	673	713	691	690	641

窒素施肥シミュレートツール
NDAS! 「ゆめちから」にも
対応しました。

⑤最後の施肥量調整 に止葉期葉色診断！

道央・道北で45未満
は増肥しましょう。



道東で
49未満は増肥
53以上は減肥
しましょう。

普及 Dissemination

- 「ゆめちから」に対応した窒素施肥シミュレートツールNDAS（MS-Excelファイル）を道総研HP（農業技術情報広場）で公開予定です。「小麦 NDAS」で検索！

連絡先 Contact

中央農業試験場
農業環境部 栽培環境グループ
0123-89-2001（代表）
central-agri@hro.or.jp